

○ 委員長報告

6月定例会本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

平成27年6月定例会

建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、洪水に対する防災対策についてであります。

このことについて一部の委員から、県民の安全・安心を確保するためには、河川改修や即効性のある河床掘削などのハード整備と市町の水防活動や県民の避難行動に資するソフト対策が不可欠であるが、その両面において、どのように防災対策に取り組んでいるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本県では、過去に浸水被害が発生した河川や市街地の河川などを優先して改修を進めるとともに、施設の長寿命化対策にも取り組んでいる。即効性のある河床掘削については、県単独事業のほか民間活力や交付金事業も導入するなどハード整備を着実に進めている。

ソフト対策としては、浸水想定区域図の作成、河川・砂防情報システムによる情報の提供や雨量等の情報を配信する「えひめ河川(かわ)メール」のほか、今年3月からは、河川監視カメラ画像の提供を県内10河川で開始するなどソフト対策の充実に努めている。

今後とも、県民の生命・財産を守るため、関係機関と連携し、ハード整備とソフト対策を組み合わせ、総合的な防災対策に積極的に取り組んでいく旨の答弁がありました。

第2点は、高規格道路の整備に係る進捗状況についてであります。

このことについて一部の委員から、今治小松自動車道、松山外環状道路インター線及び津島道路の事業の進捗状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、今治小松自動車道は、今治ICから今治湯ノ浦ICまでの10.3kmのうち、今治朝倉IC(仮称)から今治湯ノ浦ICまでの5.7kmは、用地買収が概ね完了し、今年5月13日には朝倉トンネルが貫通、朝倉高架橋の上部工等の工事を推進している。また、今治ICから今治朝倉IC(仮称)までの4.6kmは用地買収を推進し、朝倉IC橋の下部工に着手する予定で

ある。

なお、平成 26 年度末までの進捗率は、事業進捗率が 35%、用地進捗率が 75% である。

松山外環状道路の国道 33 号から国道 56 号までのインター線 4.8 km については、6 月末時点で、用地取得率が 99.8% で、国・県・市が用地未買収区間を除くほぼ全区間で工事に着手している。

未供用となっている古川 I C から市坪 I C 間の自動車専用道路部 1.8 km については、既に、国が平成 28 年度に供用する見通しを公表している。

津島道路については、平成 26 年度末までの事業進捗率は 3%、未だ用地買収には着手していないが、今年度は内海 I C (仮称) から津島南 I C (仮称) 間において、柏地区の用地買収を行うとともに、工事用道路の工事に着手する予定である旨の答弁がありました。

第 3 点は、海岸施設の地震、津波対策についてであります。

このことについて一部の委員から、愛媛県地震被害想定調査結果では、南海トラフ巨大地震等の発生時に、海岸堤防が地震と同時に倒壊する条件で津波浸水区域を推計した結果、津波高が低いと想定される西条市等の瀬戸内海沿岸においても、広範囲で浸水被害が予測されることが明らかとなったが、昨年度実施していた、海岸堤防の耐震調査の進捗状況と結果の公表はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、南海トラフ地震等の大規模地震に対する海岸堤防等の耐震性を把握するため、背後地が低いなど、津波による浸水の恐れが大きい 120 海岸、250km を対象に、平成 23 年度から、地質調査や耐震性の検証等を実施しているところであり、26 年度までに、保全人家の多い区域など重要度の高い海岸、80 海岸、165km を含め、86 海岸、191km で堤防等の耐震調査を行ったところである。

このうち、21 海岸・施設延長 37km が、現況でも設計津波水位に対する堤防の高さは確保されていたものの、地震発生後には、地盤の液状化等により堤防が沈下し、高さが不足することが判明している。

なお、個々の海岸の調査結果については、公表は予定していないが、現在、全面的な見直しを行っている海岸保全基本計画の中で反映させていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・土砂災害防止のための取組み
- ・県営住宅の家賃滞納者に対する提訴
- ・豊予海峡ルート構想の現状

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。